

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		遊休農地対策事業		担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	69121	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり	根拠法令 個別計画等	農地法 農業経営基盤強化促進法					
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援							
	主要プロジェクト		(未使用)							
事業概要		遊休農地解消に向けて農業委員・農地利用最適化推進委員会を中心に耕作放棄地の実態調査を行い、遊休農地所有者に対して意向調査を実施する。 また、調査結果を全国農地ナビ、ホームページ等で公開する。 農業を始めたい方、企業または担い手農家に農地の集積・集約化を行い、農地の活用を進めるとともに、遊休農地の解消を図る。 主な経緯費は、会計年度任用職員の賃金と、遊休農地所有者意向調査に係る役務費である。 遊休農地の解消を目指しながら、農地の有効利用を図る。								
目的 ※何のために										
対象 ※誰・何を対象に		遊休農地、遊休農地所有者及び農地を活用したい農業者								
手段 ※どのように		農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地集積・集約化の推進								
成果 ※何を求めるか		遊休農地の解消を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( <small>農業委員・農地利用最適化推進委員</small> )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	遊休農地対策事業	1,473,641
本事業の 主な業務		・市内農地の全体調査を実施し遊休農等の洗い出しを行う						・		
		・所有者に意向調査						・		
		・遊休農地の斡旋						・		
		・ホームページの運用						・		
		・						・		
		・						・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・遊休農地の現地調査 ・所有者への意向調査 ・農地の集積・集約化	・遊休農地の現地調査 ・所有者への意向調査 ・農地の集積・集約化	・遊休農地の現地調査 ・所有者への意向調査 ・農地の集積・集約化	・遊休農地の現地調査 ・所有者への意向調査 ・農地の集積・集約化		
事業費	予算(現額)	1,183,000	1,541,000	1,548,000	1,866,000		
	決算額	1,129,404	1,473,641	0	0		
	財源内訳	国支出金	936,000	1,124,000	588,000	1,297,000	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	193,404	349,641	960,000	569,000	
人件費	従事職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50		
	人件費相当試算※	11,642,873	11,804,336	12,294,581	12,294,581		
総事業費試算		12,772,277	13,277,977	13,842,581	14,160,581		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	遊休農地面積		目標値	㎡						
			実績値		174.70					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			実績、結果値であり、目標値の設定は困難 / 実績値（現地調査結果）						
	実績値の算出式									
活動指標 2	アンケート意向調査実施者数		目標値	人						
			実績値		996.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			実績、結果値であり、目標値の設定は困難 / 実績値（現地調査結果）						
	実績値の算出式									
活動指標 3	農業委員・農地利用最適化推進委集積・集約化の活動日数		目標値	日	0.00					
			実績値		208.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			実績、結果値であり、目標の設定は困難（令和元年からの指標） / 実績値（活動実績）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	遊休農地解消面積		目標値	㎡	32.40					
			実績値		42.22					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去5年間の平均値 / 実績値（掲載面積）						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	遊休農地面積については、昨年度より減少した。アンケート意向調査実施者数について、国の方針に伴い全遊休農地所有者行ったため増加している。農業委員・農地利用最適化推進委員の活動日数は新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、昨年を上回る活動ができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和2年度は新型コロナ補助金（高収益作物次期作支援交付金）により、農地の貸借が増加したことにより、遊休農地面積の解消につながったと考えらる。 令和4年度は遊休農地現況調査後に農業委員・農地利用最適化推進委員の協力を得て再調査を行ったことで、昨年以上の遊休農地面積の解消に繋がった。
			評価者 農地係長 関根 克己

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	タブレット端末を使用した遊休農地調査により、労務等、効率的な作業が可能となっている。令和4年度は、農業委員、農地利用最適化推進委員による再調査を行ったことで、全体の遊休農地面積は減少し、遊休農地解消面積も昨年（令和3年度）と比べても増加している。遊休農地は、毎年、解消していくものと新たな発生があるが、全体的には近年、ほぼ横ばいで推移している。
			評価者 事務局次長 笠原 正幸

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	農業委員及び農地利用最適化推進委員が農地利用状況調査による遊休農地情報の共有を図り、地域農業の経営拡大意向への利用集積・集積化を促進していく。
達成状況及び その効果	令和4年度の遊休農地は減少した。意向調査のアンケートは国の方針に伴い、遊休農地の全所有者に通知したため増えている。遊休農地の解消面積は昨年に比べ、減少した。 農業委員、農地利用最適化推進委員による再調査の効果が出ている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	遊休農地対策事業	担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	69121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>農業委員、農地利用最適化推進委員による農地の利用集積・集約化を推進することにより、遊休農地解消の促進を図る。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	事務局次長 笠原 正幸				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	農業委員及び農地利用最適化推進委員との農地利用状況調査による遊休農地情報の共有を図り、地元の経営拡大意向への利用集積・集積化を推進していく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	農業委員及び農地利用最適化推進委員と遊休農地の情報を共有し、更なる農地の利用集積・集約化を図るとともに、遊休農地解消の取組を図る必要がある。

8. 評価指標グラフ

